



アスペン・ジュニア・セミナー（対面）参加者募集（高2限定）

今年度は事前オリエンテーションのみ ZOOM ミーティングを使用し、セミナーは3年ぶりに対面開催となります。以下、募集要項から抜粋してご案内します。対象学年は高2のみです。興味のある生徒諸君は必要書類をグローバル教育部に提出して下さい。

【目的と効果】

アスペン・ジュニア・セミナーは「よく生きる」ことを古典に学ぶ、高校2年生を対象としたリベラル・アーツ・セミナーです。このセミナーは、東西の「古典」を教材に、参加者による「対話」を通して「よく生きるとは」、「何のため学ぶのか」、「何のため働くのか」、「大切にしたい価値」といった人生の重要な課題について考えることを目的としています。難解な古典のテキストを徹底的に読むことにより高い読解力を養うだけでなく、古典に触れる喜びを体験します。学校の教室とは異なり、正解のない事柄に対して、自分の頭で懸命に考え抜く経験をし、さらに「対話」を通してそれぞれが考えたことを披歴しあうことで、視野を広げ、判断力を高め、将来大きな困難に遭遇した時に何らかの解決の糸口を発見する力を養います。

【セミナーの進め方】

各校からの参加者1クラスあたり15人～20人の3クラス編成で、10月のオンラインオリエンテーションを皮切りに、11月・12月・1月の各月1回、日曜・祝日の午後を使って、対面による対話が繰り返されます。参加者は、事前に配布する東西の「古典」を抜粋したテキストを何度も読み、セミナーに備えます。モデレーターと呼ばれる進行役の先生は、直接的には何も教えません。参加者同士の対話を通して、自分自身への反省や発見、そして著作や著者に対する思索が深まります。

【セミナー日程】

オリエンテーション	10月23日（日）	午前10時～12時
セミナー Day 1	11月23日（水・祝）	午後1時～5時
Day 2	12月18日（日）	午後1時～5時
Day 3	1月8日（日）	午後1時～4時20分

【参加条件】

- 高校2年生に限る。
- オリエンテーションを含め上記4日間にすべて出席できること。
- パソコン、インターネット環境が整っていること。スピーカー（又はヘッドフォン）・マイク・及び内蔵カメラが必要。パソコン端末からアクセスする。

【使用テキスト】

オリエンテーション 芭蕉 「おくのほそ道」

Day 1 アリストテレス「形而上学」 ソロー「ウォールデン」

Day 2 旧約聖書「創世記」 オルテガ「大衆の反逆」

Day 3 森 鷗外「かのように」

【セミナーにご参加いただく先生（予定）】

関根 清三 先生（東京大学 名誉教授）

荻野 弘之 先生（上智大学 教授）

荻部 直 先生（東京大学 教授） 他 産業界の先生方



セミナー風景（2019）

日本アスペン研究所 HP より転載

【場所】オリエンテーションは各自の自宅で参加。

セミナーは3回とも東洋大京北高等学校
（都営地下鉄三田線白山駅下車）で実施

【参加費用】 無料（但しセミナー出席のために発生する交通費は参加者負担）

【本校内募集スケジュール】

1校から最大3名までという条件になっています。

本校特有の事情として10月23日（日）は修学旅行第1隊の出発日となっています。主催団体に確認した所、通常通りの校内募集をした上で応募者が出そろった所で再度先方と相談するということになりました。第1隊のクラスの生徒が校内選考にエントリーすること自体は妨げませんが、正式応募の段階でプログラムに参加できなくなる可能性があり得るということを織り込んだ上で応募して下さい。生徒諸君には不便をお掛けしますがどうか御理解下さい。

参加希望の生徒はA4用紙に①クラス・番号・氏名、②パソコン用のメールアドレス、③セミナーへの参加志望動機を書いて9月10日（土）朝8時までにグローバル教育部へ提出して下さい。夏期講習7ターム・8ターム中の提出でも結構です。但し先着順ではありませんのでお間違えのないようにお願いします。用紙は特に指定のものはありません。記載は手書き・PCどちらでも結構です。主催者に修学旅行1隊の生徒の有無を含めた本校の応募状況をご報告した上で最終的な応募者を決定します。3名以上の応募があった場合には抽選で参加生徒を決定します。

セミナー受講後はグローバル通信に感想を寄せてもらうこともあらかじめ了解して下さい。

【参考】

残念ながら昨年度は本校から希望生徒が出ませんでした。参考までに一昨年度参加した本校生徒の感想文は以下のURLから御覧になれます。

グローバル通信94号

<https://www.kaijo.ed.jp/wp-content/uploads/2021/01/907256fbffed44a97326c51e88a84d02.pdf>



日本アスペン研究所 HP より過去の参加者による感想

「私はここ数年間『よく生きる』という事に勘違いをしていたかもしれません。義務や規律を極端に重視し、『これはこうあるべきだ』、『こうしなければならない』という凝り固まった考え方をしていました。でも今回のセミナーで色々な人に出会って色々な意見を聞いて、本当の『豊かな心(心の豊かさ)』とは何なのか、と言う事が少しわかりかけた気がします。『生きる』という事について真剣にむかいあって行動している人達、そんな仲間がいるとわかってとても嬉しかったです。」(女子生徒)

「セミナーを通して実感した事は、自分は普段疲れるまで頭を使っていなかったのだと言う事です。長い歴史の中で伝えられてきた古典の名文を全て理解したという大それた事は到底言えませんが、これだけの人数が集まれば、かなり真理に近い部分に接近できるのだなと思いました。」(男子生徒)

「このアスペンを通じて自分の意見を主張する事はとても大事なのだと知りました。ここでは自分の意見を否定される事は無く、自分の意見に対し何かしらの反応が返ってきます。それがとても嬉しかったです。これからはきっと自分と違う意見の人がいても流される事無く自分の意見を主張する事が出来るでしょう。このセミナーは私の人生にとっても大きな影響を与えたのだと思います。」(女子生徒)



セミナー風景(2019)
日本アスペン研究所 HP より転載

「海外大進学を考える会」実施報告

6月3日（土）の午後に本校卒業生の山田健人さん（2020年卒 現在はハーバード大学新3年生で政治学専攻）、双川凜生さん（2021年卒 現在はジョージア工科大学新2年で航空宇宙工学専攻）が一時帰国をしているタイミングを利用して在校生のために「海外大進学を考える会」を企画して下さいました。途中からは池田隼さん（2022年卒 9月からカリフォルニア工科大学新1年生）も加わり生徒諸君や保護者の質問にも丁寧に答えて下さいました。

日本の大学では経験できないような最先端の研究に触れることができる恵まれた環境で過ごせる喜びがあると同時に、人間関係や食事といった渡米前には予想していなかった部分でのストレスを感じるといったエピソードも披露されました。

教員からみますと3名とも本校在学中は学校での学習を基本としつつも、それだけに満足せず自らの興味関心を深める活動に積極的に関わっていた印象があります。校内で完結するのではなく外部と積極的に関わろうという姿勢が今につながっていると感じます。在校生諸君も先輩に刺激を受けて自分の世界を広げていっていただきたいと願っています。



全体的なプレゼンテーション



グループに分かれてQ & Aセッション

モンゴルセミナー受付中です

グローバル通信112号で御知らせした7月30日（土）午後12時50分からのモンゴルセミナーの参加者を募集中です。事前エントリーできなかった場合でも理科館1階の階段教室へぜひおいで下さい。

本日で1学期が終わります。今学期もご愛読ありがとうございました。新型コロナウイルスの感染再拡大が進む中で本校主催の海外研修も軒並み中止が決定し、いつになったら安心して生徒諸君を海外に送り出すことができるようになるのか、以前の状態に一日も早く戻ってくれることを願うばかりです。その一方でウィルスのせいにして学びを止める訳にはいきません。皆さんが置かれた今の環境でできる最大限のことにぜひ取り組んでいただきたいと思います。どうか充実した夏休みをお過ごし下さい。